

ニュースリリース

2024年5月28日

高解像度CMOSセンサーを搭載し、高精細なハイビジョン画質を提供

ダブルバルーン小腸内視鏡「EN-840T」新発売

副送水機能の搭載・操作性のさらなる向上により、小腸深部のスムーズな観察・治療に貢献

このニュースリリースは、報道機関向けに発信している情報です。

富士フイルム株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長・CEO:後藤 禎一)は、高解像度CMOSセンサーを搭載し、当社従来機種^{*1}比で高精細なハイビジョン画質を提供するダブルバルーン小腸内視鏡「EN-840T」を、富士フイルムメディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:川原 芳博)を通じて5月28日より発売します。

富士フイルムメディカルは、5月30日～6月1日にグランドプリンスホテル新高輪(東京都港区)で開催される「第107回 日本消化器内視鏡学会総会(JGES2024)」に本製品を出展します。

小腸は、全長6～7mと長く、口からも肛門からも遠いことに加え、体腔内に固定されていないため、長年、内視鏡検査が困難な臓器と言われてきました。当社は、2つのバルーンを使用し、小腸内でスコープを少しずつ進ませるダブルバルーン小腸内視鏡を2003年に世界で初めて発売。ダブルバルーン小腸内視鏡の登場により、小腸全域の検査・処置が容易に可能になりました。ダブルバルーン小腸内視鏡は、小腸疾患の早期発見・治療をサポートする内視鏡として、大学病院など多くの医療機関で利用されています。

今回発売するダブルバルーン小腸内視鏡「EN-840T」は、高解像度CMOSセンサーを搭載し、当社従来機種^{*1}と比較し高精細なハイビジョン画質を提供します。また、当社従来機種^{*1}と同じ先端部径・鉗子口径を維持しながら、新たに副送水機能を搭載しました。観察部位に付着した粘液や血液を洗い流すことができるため、よりスムーズな観察や治療に寄与します。体内に挿入する挿入部には、先端から手元にかけて硬さと弾発性を変化させ、先端側は柔らかく、手元側はたわみにくくコシのある「高弾発グラデーション軟性部」を採用しました。術者の押し引き・回転操作が先端に伝わりやすい特性を持っているため、小腸深部への挿入性向上が期待できます。

富士フイルムは、今後も独自技術を生かし、さまざまな医療現場のニーズに応える幅

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシー に同意したことになります。

※1 当社従来機種「EN-580T」との比較。

販売名:ダブルバルーン内視鏡システム(-580TB-)

承認番号:22500BZX00052000



ダブルバルーン小腸内視鏡「EN-840T」

記

1. 品名

ダブルバルーン小腸内視鏡 EN-840T

販売名:ダブルバルーン内視鏡システム(-840TB-)

承認番号:22500BZX00052000

2. 発売日

2024年5月28日

3. 主な特長

(1) 高解像度CMOSセンサーを搭載し高精細なハイビジョン画質を提供

高解像度CMOSセンサーを搭載し、当社従来機種^{※1}と比較し高精細なハイビジョン画質を実現しました。近接2mmからの観察が

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシー に同意したことになります。

- ※2 臓器の粘膜表層の微細な血管や、粘膜の微細な構造などを強調して表示する機能。「Blue Light Imaging」および「Blue LASER Imaging」の略。
- ※3 画像の赤色領域のわずかな色の違いを強調して表示する機能。「Linked Color Imaging」の略。
- ※4 販売名:プロセッサ EP-8000、認証番号:305AABZX00037000、本内視鏡も組合せの一例として含む。
- ※5 血液の色の濃淡や微妙な色の違いを強調表示する機能。「Amber-red Color Imaging」の略。

(2) 当社従来機種同等の先端部径・鉗子口径を維持しながら副送水機能を搭載

当社従来機種^{*1}同等の先端部径9.4mm・鉗子口径3.2mmを維持しながら、新たに副送水機能を搭載しました。これにより、さまざまな処置具を使用しながら、観察部位に付着した粘液や血液を洗い流すことができるため、よりスムーズな観察や治療に寄与します。

(3) 挿入性・操作性のさらなる向上を目指して開発した高弾発グラデーション軟性部を採用

挿入部先端から手元にかけて硬さと弾発性を変化させ、先端側は軟らかく、手元側はたわみにくくコシのある「高弾発グラデーション軟性部」を採用しました。術者の操作が先端に伝わりやすいため、小腸深部への挿入性向上が期待できます。

お問い合わせ	報道関係	お客さま
	富士フイルムホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 広報グループ	富士フイルムメディカル株式会社 営業本部 マーケティング部
	TEL 03-6271-2000	TEL 03-6419-8033

* 記事の内容は発表時のものです。最新情報と異なる場合(生産・販売の終了、仕様・価格の変更、組織・連絡先変更等)がありますのでご了承ください。

富士フイルム広報 X(旧
Twitter)

一覧へ戻る

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシー に同意したことになります。

©富士フイルム株式会社

Cookieの利用について

このウェブサイトはクッキーを使用しています。このサイトを使用することにより、プライバシーポリシー に同意したことになります。